

科目名 Course Name	発達と学習 Development and Learning Psychology						
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小竹仁美						
連絡先(質問等)	本館2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間および学生相談時間以外。						
必修/選択	選択(栄養教諭必修)						
関連 DP	DP1,DP2,DP4						
授業の概要と到達目標	<p>人がどのように発達し学習していくのかについての諸理論を、特に乳幼児期から青年期にかけてワーク等を活用して体験的に学び、それを基礎に学校現場で生じる諸事例について考察を行う。</p> <p>①子どもの発達について説明できるようにする。 ②発達に伴い生じやすい心理的課題について理解し、解決に向けて適切な対応をとることができるようにする。 ③学習指導法を学び、発達段階に適した方法を選択し、実際の現場で応用できるようにする。</p>						
授業の方法	講義形式と、グループワークなどの参加型形式。						
学習成果	L01						
	L02	乳幼児期から青年期までの発達の過程と特徴、生じやすい心理的課題について予備知識を得て、教員としての基本的な態度や対応を習得することができる。					
	L03	発達段階を想定し、授業方法を工夫し、授業計画を作成し、模擬授業を行うことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業参加態度および発表は実施後に各自にフィードバックする。試験は実施後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	教科書:発達と学習(内藤佳津雄他編、弘文社)。※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。						
履修上の留意点やルール等	●目的意識が明確であること。●ディスカッション等に積極的に参加すること。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、ディスカッションへ等の参加の積極性、授業内容の予習の実行が態度や行動に十分に表現されていることである。20%の配点。		20		
レポート/作品					
発表	S 評価は、模擬授業において、授業対象者の年齢を設定し、その発達段階にふさわしいテーマを選択し、説明用の教材とことばを工夫し、落ち着いた態度で実施していることである。40%の配点。		10	30	
小テスト					
試験	正誤問題および説明問題。30%の配点。S 評価は得点率 9 割以上。			30	
その他	S 評価は、模擬授業計画の作成を計画的に進め、進捗状況を報告していることである。10%の配点。		10		
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、発達と学習の心理学とは、教職を目指す動機
	事前・事後学習	成人後の変化を含めて「発達」と捉えるようになった理由を書き出す。
2	授業内容	発達の理解、発達に影響を及ぼす要因、発達段階と発達課題
	事前・事後学習	年齢と発達の特徴について考える。
3	授業内容	乳幼児期の発達(映像で学ぶ)
	事前・事後学習	映像を見て学んだことについて報告書を作成する。
4	授業内容	認知の発達
	事前・事後学習	おとなと子どもの認知の違いを書き出す。
5	授業内容	社会性の発達
	事前・事後学習	子どもの社会性を育てるのに役立つ養育者のかかわり方を考える。
6	授業内容	青年期の発達
	事前・事後学習	青年期の環境とアイデンティティの確立との関連を考える。
7	授業内容	学習の諸理論、模擬授業についての説明
	事前・事後学習	模擬授業のテーマを考える。
8	授業内容	記憶のしくみ、模擬授業のテーマ提出
	事前・事後学習	ワーキングメモリの働きについて具体的な例を示して説明する
9	授業内容	学習理論の教育への応用、模擬授業進捗状況報告①。
	事前・事後学習	学習理論の特徴についてまとめる、模擬授業の準備を進める
10	授業内容	動機づけ、模擬授業進捗状況報告②。
	事前・事後学習	子どものやる気を高める働きかけを具体的に考える、模擬授業の準備を進める
11	授業内容	学校における防災教育、模擬授業進捗状況報告③。
	事前・事後学習	子ども向けの防災教育の教材を調べる、模擬授業の準備を進める
12	授業内容	知能の諸理論と測定、教育評価、模擬授業進捗状況報告④。
	事前・事後学習	教育評価の方法の特徴を一覧表にまとめる、模擬授業の準備を進める
13	授業内容	発達障害の理解と教育支援、模擬授業進捗状況報告(最終)。
	事前・事後学習	模擬授業の予行練習を行う。
14	授業内容	模擬授業実施①
	事前・事後学習	模擬授業実施後のレポートを作成する。
15	授業内容	模擬授業実施②
	事前・事後学習	模擬授業実施後のレポートを作成する。